

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	森林・林業情報等調整事務事業			事業コード	0678
所属コード	14200	課等名	林政課	係名	林政係
課長名	高橋 山雄	担当者名	菅原 真理	内線番号	6052
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画 体系（旧）	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生活基盤の整備	コード	2
予算費目名 (H26)	一般会計 6 款 2 項 1 目 林業総務費（001-01）			
特記事項 (H26)				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度			開始年度 昭和 41 年度
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

市民に対し森林・林業の情報を提供することにより，森林・林業に対する理解を深める。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

近年，環境面から市民の森林・林業に対する関心が高まっていることと，林業が低迷していることから，市民に森林・林業を理解してもらう必要がある。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

いわて森林づくり県民税事業の創設・拡充など国や県の森林・林業情報がますます必要となっている。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象（誰が、何が対象か）

市民

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 人口	人	298,853	299,220	299,585	299,000	298,857
B						
C						

(3) 26 年度に実施した主な活動・手順

森林・林業情報の提供

- ・市民植樹祭，探鳥会，講演会，HP 開設による情報提供
- ・森林公園における森林林業振興に関するイベント開催

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 各種森林・林業関係イベント	回	40	42	41	40	41
B						
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

市民の林業・森林に対する理解を深めること。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A イベントにおける参加数	☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持	人	891	950	1,140	900	980
B	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						
C	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 計画	26年度 実績
事業費	①国	千円					
	②県	千円					
	③地方債	千円					
	④一般財源	千円					
	⑤その他()	千円					
	A 小計 ①～⑤	千円					
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	80	80	80	80	80
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	320	320	320	320	320
計	トータルコスト A+B	千円	320	320	320	320	320
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

情報提供により市民の理解を得ることが重要であり、そのことが基本事業に結びついている。

② 市の関与の妥当性

市民からの要望であることから、市で持っている情報を提供する必要がある。

③ 対象の妥当性

市民全体が対象となっているので特に限定する必要はない。

④ 廃止・休止の影響

森林・林業施策の理解が得られなくなる。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

ホームページや広報を充実し、ツイッター等も活用することにより、多くの情報を発信することが可能となる。

- (3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）
市民全体を対象としている。

- (4) 効率性評価
主に職員の人件費だけであり，それも削減を図った状態にある。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	農林業の振興	コード	21
	小施策（推進項目）	生産基盤の整備	コード	2

- (2) 改革改善の方向性
ホームページ，広報，ツイッター等，記載・発信機会の充実を図る。

- (3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法
特になし。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 今後の方向性
- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
 - ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
 - ☐ 終了・廃止・休止

- (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

既に市内の森林資源の成熟化が進行し，伐って使う時代になっているのに，一般的には，森林の木を伐採することが，「悪」と思われているきらいがある。早く，こうした間違いを一掃するため，教育関係者への情報発信が重要と思われるので，もう一工夫，発信のしかたを変えていく必要がある。